

無料修理規定

- 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理または交換をさせていただきます。
(イ) 無料修理をご依頼になる場合には、商品に取扱説明書から切り離した本書を添えていただき、お買い上げの販売店にお申しつけください。ただし消耗品・付属品は除く。
(ロ) お買い上げの販売店に無料修理をご依頼にならない場合には、カスタマーセンターにご連絡ください。
 - ご転居の場合の修理ご依頼先は、お買い上げの販売店またはカスタマーセンターにご連絡ください。
 - ご贈答品等で本保証書に記入の販売店で無料修理をお受けにならない場合には、カスタマーセンターへご連絡ください。
 - 保証期間内でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。
(イ) 使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷。
(ロ) お買い上げ後の取付場所の移設、輸送、落下などによる故障及び損傷。
(ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他天災地変及び公害、塩害、ガス害(硫化ガスなど)、異常電圧、指定外の使用電源(電圧、周波数)などによる故障及び損傷。
(ニ) 車両、船舶等に搭載された場合に生ずる故障及び損傷。
(ホ) 一般家庭以外(例えば業務用など)に使用された場合の故障及び損傷。
(ヘ) 本書の添付がない場合。
(ト) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
(チ) 持込修理の対象商品を直接カスタマーセンターへ送付した場合の送料等はお客様のご負担となります。また、出張修理等を行った場合には、出張料はお客様のご負担となります。
5. 本書は日本国内での使用においてのみ有効です。
6. 本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。
- 消耗品・付属品は保証の対象外です。

修理メモ

※お客様にご記入いただいた個人情報(保証書控)は、保証期間内の無料修理対応及びその後の安全点検活動のために利用させていただく場合がございますのでご了承ください。
※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によって、保証書を発行しているもの(保証責任者)、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはカスタマーセンターにお問い合わせください。

récolte® レコルト 電気なべ コポット 保証書

持込修理

本書はお買い上げの日から下記期間中、故障が発生した場合には本書上記記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。ご記入いただきました個人情報の利用目的は本票上記に記載しております。

保証期間	お買い上げ日より	本体1年間	お買い上げ日	年	月	日
お客様	ご住所 〒	—	販売店			
			住所・店名			
お名前		様				
電話 ()		—	電話 ()			—

ウィナーズ株式会社

製品についてのお問い合わせは下記まで

カスタマーセンター TEL.03-6662-7100 受付時間 10時~12時/13時~17時(土日祝日を除く)
住所 〒125-0062 東京都葛飾区青戸4-18-12 ソーケンビル4F

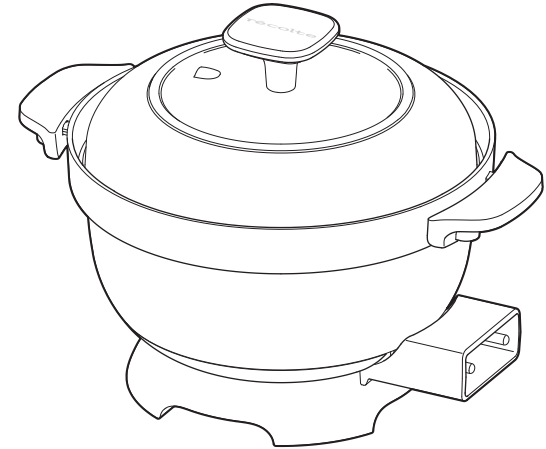
This product is for use inside Japan only. Do not use outside Japan.

This warranty is valid only in Japan.

récolte®

Electric Pot Copot

レコルト
電気なべ コポット
REP-1



取扱説明書

この度はレコルト 電気なべ コポットをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。ご使用前に必ず、この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。

This product is for use inside Japan only.
Do not use outside Japan.

製品についてのお問い合わせは下記まで

カスタマーセンター
TEL.03-6662-7100

【受付時間】
10時~12時/13時~17時(土日祝日を除く)
【住所】
〒125-0062
東京都葛飾区青戸4-18-12 ソーケンビル4F

INDEX

安全上のご注意	1-5
初めてご使用になる際、 またはしばらく使わなかったときに	5
各部(パーツ)の名称	6
コントローラーについて	7
ご使用の前に	7-8
使用方法	9-11
揚げもの料理をする際の ポイントと注意点	12
お手入れのしかた	13
故障かな?と思ったら	14
仕様	14
無料修理規定/保証書	裏表紙

安全上のご注意

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りください。
内容表示を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

警告 この表示の欄は「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。

注意 この表示の欄は「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。



この表示は、禁止(してはいけないこと)を示します。
具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。



この表示は、指示する行為の強制(必ずすること)を示します。具体的な指示内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。

指示



この表示は、注意を示します。具体的な指示内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。

注意

警告

電源プラグ・電源コード・コントローラー



濡れ手禁止

濡れた手で電源プラグやコントローラーの抜き差しをしたり、操作したりしない。

感電・けがの原因。



水濡れ禁止

コントローラーを水につけたり、水をかけたりしない。

火災・感電・ショート・故障の原因。



禁止

電源コードは破損したまま使用しない。電源コードを傷つけたり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねたり、高温部に近づけたり、重いものをのせたり、挟み込んだり、加工したりしない。

電源コードが破損し、火災・感電の原因。

電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない。

感電・ショート・火災・発火の原因。



禁止

電源プラグにピンなどの金属片やゴミを付着させない。

感電・ショート・火災・発火の原因。

交流100V以外では使用しない。
火災・感電・故障の原因。

タコ足配線しない。

他の器具と併用すると、分岐コンセント部が異常過熱して、発火することがあります。

外部に電源タイマー、別の遠隔制御システムなどを接続して使用しない。

事故・故障の原因。



必ず行う

電源プラグは、交流100Vで「15A125V」と記されている壁面のコンセントに直接差し込む。

火災・感電の原因。

電源プラグはコンセントの奥までしっかり差し込む。

感電・ショート・発煙・発火の原因。



必ず行う

乳幼児が電源プラグや感熱棒を誤ってなめないように注意する。

感電・けがの原因。

温度調節ダイヤルをOFFにしてから、電源プラグ・コントローラーを抜き差しする。

感電・ショート・火災・発火の原因。

本体



分解禁止

改造・分解・修理をしない。

火災・感電・けがの原因。
修理はお買い上げの販売店または、カスタマーセンターに相談してください。



禁止

カーテンなど可燃物の近くで使用しない。

火災の原因。

調理中はそばを離れない。

事故の原因。

子供など、取り扱いに不慣れな人だけで使わせたり、乳幼児の手の届くところで使わない、触れさせない、保管しない。

感電・けがの原因。

専用のパーツ以外は使用しない。
故障・けがの原因。

MAXラインを超える液体(約1,000ml以上)、油(約450ml以上)を入れない。

火災・やけど・けが・故障の原因。

倒れたり落としたり、ぶつけるなど、本体に強い衝撃を与えない。

故障の原因。



電源プラグを抜く

使用時以外は電源プラグをコンセントから抜く。

けが・やけど・絶縁劣化による感電・漏電火災の原因。

電源プラグを抜くときは、電源コードを持たず必ず先端の電源プラグを持って引き抜く。

感電・ショート・発火の原因。



禁止

異常時(焦げ臭い、発煙など)は電源プラグを抜き、使用しない。
火災・感電の原因。

電子レンジやオーブン、食器乾燥機、食器洗い乾燥機に入れない。

変形・故障の原因。



必ず行う

変形・破損などの異常や故障と思われる状態では使用を中止する。

火災・感電・けがの原因。

使用前・使用後は必ず各製品の点検を行う。

破損、ヒビ割れを発見したときは使用しない。
故障や事故の原因。

以下の場合には使用を止め、当社
の点検・修理を必ず受ける。

- ・製品に不具合、損傷がある。
 - ・製品を床に落とした。
 - ・製品が焦げ臭い、発煙する。
- カスタマーセンターに点検・修理を依頼してください。

⚠ 注意

■ 電源プラグ・電源コード・コントローラー



禁止

コントローラーに衝撃を与えない。

故障の原因。

専用のコントローラー以外は使用しない。コントローラーは他の機器に使用しない。

感電・けが・事故の原因。

コントローラー差し込み口のすき間にピンや金属物などの異物を入れない。

感電・けが・事故の原因。



禁止

感熱棒に水や汚れがついたまま使わない。

感電・けが・事故の原因。



電源プラグを抜く

お手入れは必ず電源プラグを抜いて、本体が十分冷めてから行う。

感電・やけどの原因。



必ず行う

動作していないことを確認してから電源プラグを抜き差しをする。

感電・ショート・火災・発火の原因。

■ 本体



接触禁止

使用中や使用後しばらくは、本体やフタなどの高温部に触れない。

やけどの原因。



禁止

燃えやすいものを本体の上へのせたり、本体の下に入れて使用しない。

火災の原因。



禁止

業務用として使用しない。

変形・故障の原因。

使用中・使用直後に本体の移動・持ち運びはしない。

やけど・故障・けがの原因。

この取扱説明書に記載のない目的・方法で使用しない。

けが・事故の原因。

調理以外の用途に使用しない。

火災の原因。

⚠ 注意



禁止

なべやフタを金属製のヘラや鋭い刃物でこすらない。研磨剤入りのスポンジ、洗剤などを使用しない。

コーティングが傷つき、剥離・劣化の原因。

本体のコントローラー差し込み口の金属部分に水や汚れがついた状態で使わない。

感電・けが・事故の原因。

本体を持ち運ぶときは、本体の取っ手を持つ。

破損の原因。

缶詰や瓶詰を直接加熱しない。

破損・赤熱・やけど・けがの原因。



必ず行う

使用後は必ずお手入れをし、常に清潔な状態に保つ。

汚れによる故障の原因。

煮る料理や蒸し料理のときは蒸気が出るので、フタの取り外しに注意する。

やけどの原因。

調理物や水気を残したままで放置しない。

素地が腐食し、コーティングの剥離・劣化の原因。

使用中や使用直後は高温部に電源コードが触れないようにする。

破損・火災・感電の原因。

ふきこぼれないように注意する。ふきこぼれたときは、すみやかに温度調節ダイヤルをOFFにして電源プラグをコンセントから抜き、高温部が冷めてからしっかり拭きとる。

感電・ショート・火災・発火の原因。

⚠ 注意

■ 設置

禁止 不安定な場所、滑りやすい場所、濡れている場所、熱に弱いテーブルや敷物の上では使用しない。
破損・故障・けがの原因。

屋外で使用しない。
故障の原因。

物をのせたり、落下しやすい所に置いたりしない。
発熱・発火・感電・けがの原因。

禁止 水のかかりやすい場所では使用・保管しない。
火災・感電・変色・変形の原因。

直射日光・雨が当たる場所に置かない。
発熱・発火・漏電・故障の原因。

ストーブやガスコンロなど熱源のそばで使わない。
破損の原因。

! 壁やコーナー等から20cm以上離して使用する。
必ず行う

揚げもの：油の飛び散りなどにご注意ください

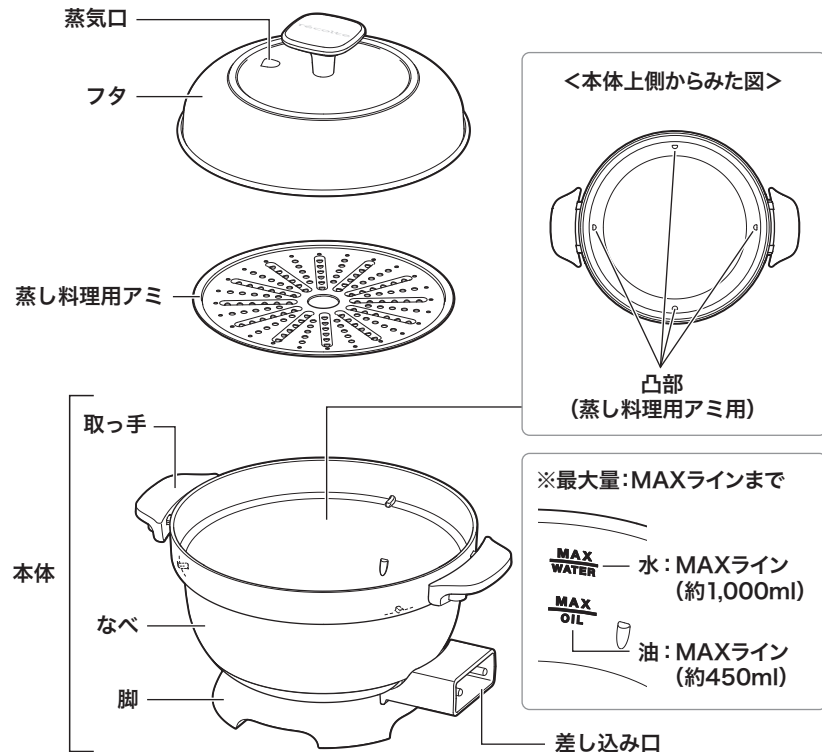
- ・本体に水分や水滴がついた状態で油を入れない。
- ・調理中、顔を近づけない。
- ・調理中、フタを使わない。
(フタの裏面についた水滴が落ち、油が飛び散りやけど・けがの原因。)
- ・適温にならないうちに材料を入れない。
(油温が上がってくると、油が飛び散りやけど・けがの原因。)
- ・MAXライン(OIL)を超える油(約450ml以上)を入れない。

初めてご使用になる際、またはしばらく使わなかったときに

- コントローラー以外のパーツを台所用中性洗剤を含ませたスポンジなどで洗ってよくすすいだ後、しっかり乾かしてから使用してください。
 - 使用前・使用後は必ず各部品の点検を行ってください。
破損、ヒビ割れを発見したときは事故の原因になるため、使用しないでください。
- ※ 予熱中に煙が出たり、樹脂のおいがあることがありますが、異常ではありません。使用とともに消えていきます。

各部(パーツ)の名称

パーツ、付属品をご確認ください。



付属品

Original Recipes

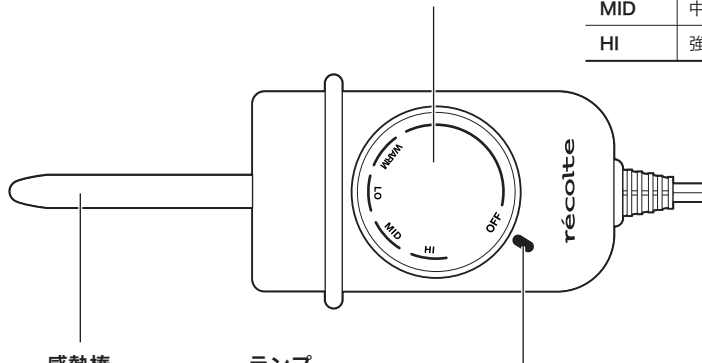
専用レシピブック

コントローラーについて

温度調節ダイヤル

右に回すと温度が高く設定されます。
作る料理に合わせて設定(温度)を調節してください。
※具体的な設定については、付属の専用レシピブックを参考にしてください。

OFF	電源OFF
WARM	保温
LO	弱火
MID	中火
HI	強火



感熱棒

温度を感知します。

ランプ

温度調節中に点灯し、設定した温度になると消灯します。
使用中は温度調節のため、ついたり消えたりします。

ご使用前に

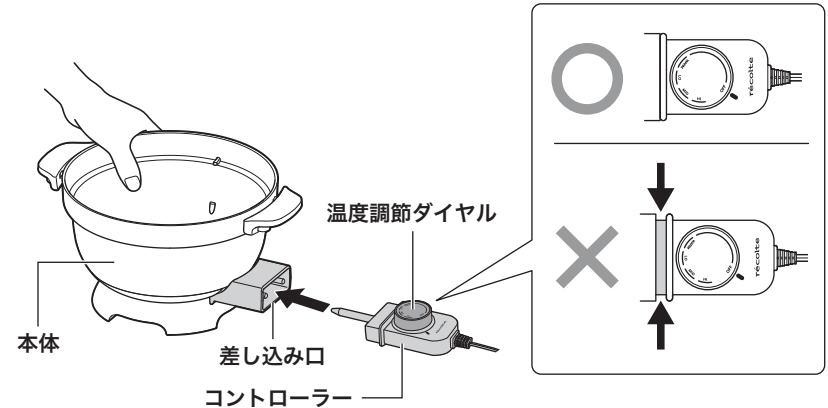
1 コントローラー以外のパーツを水洗いして、乾燥させる

台所用中性洗剤を含ませたスポンジなどで洗ってよくすすいだ後、しっかり乾かしてから使用してください。

2 本体を水平で安定した、熱に強い場所に設置する

近くに可燃物がない場所に設置してください。

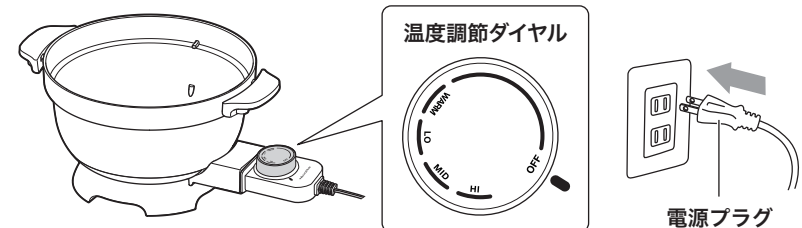
3 温度調節ダイヤルを上側にして、本体を手で支え、コントローラーを本体の差し込み口にしっかり奥まで差し込む



⚠ 注意

- コントローラーを本体の差し込み口の奥まで、確実に差し込む。
発熱・発火や故障の原因。
- コントローラーの感熱棒や本体の差し込み口内の金属部分の汚れは、必ず拭きとる。
温度調節ができない・異常発熱・故障の原因。
- コントローラーの感熱棒や本体の差し込み口内の金属部分が、濡れた状態で使用しない。
濡れた場合は必ず完全に乾かしてから使用する。
感電・ショートの原因。

4 温度調節ダイヤルがOFFになっていることを確認し、電源プラグをコンセントに差し込む

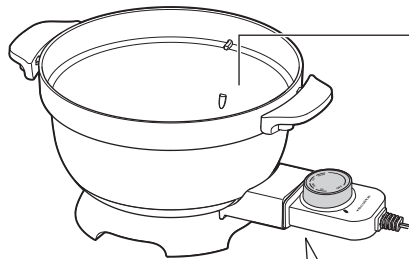


使用方法

ここでは基本的な使用の手順について説明します。
具体的な調理手順については、付属の専用レシピブックを参照してください。

1 温度調節ダイヤルを右に回し、作る料理に合わせて温度を調節する

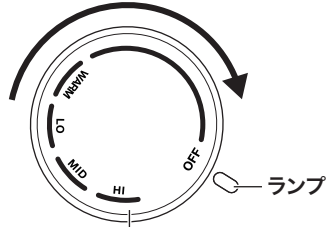
ランプが点灯し、設定した温度になるまで加熱します。
設定した温度に到達するとランプは消灯します。
※ランプは温度調節の働きにより、ついたり消えたりします。
故障ではありません。
※カチカチという音は、ヒーターの熱膨張による音です。
故障ではありません。



※最大量:MAXラインまで

MAX WATER 水:MAXライン
(約1,000ml)
MAX OIL 油:MAXライン
(約450ml)

右に回す



温度調節ダイヤル

温度の目安

ダイヤル表示		温度(°C)
OFF	—	—
WARM	保温	約60~90°C
LO	弱火	約100~150°C
MID	中火	約150~200°C
HI	強火	約200~240°C

※フタをせず、材料を入れていないときのなべ表面の温度の目安です。

⚠ 注意

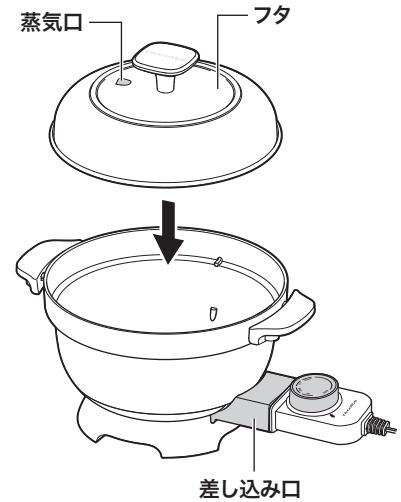
- MAXラインを超える液体(約1,000ml以上)、油(約450ml以上)を入れない。
火災・やけど・けが・故障の原因。

2 なべが温まったら調理を始める

※必ず蒸気口が差し込み口の反対側に向くようにしてください。
※フタは水分を保つ料理などで使用してください。

⚠ 注意

- 加熱時はフタが熱くなっているため、フタを取るときは注意する。
やけどの原因。
- フタの蒸気口から出る蒸気に注意する。
やけどの原因。
- 熱い状態のフタをビニールクロスやテーブルの上に直接置かない。
破損・変色・変形の原因。
- 予熱目的以外の空焚きは行わない。
故障・火災・焦げつきの原因。
- 使用中や使用直後は、なべやフタに直接触れない。
やけどの原因。
- 金属製のヘラや鋭利な器具は使用しない。
コーティングが傷つき、剥離・劣化の原因。

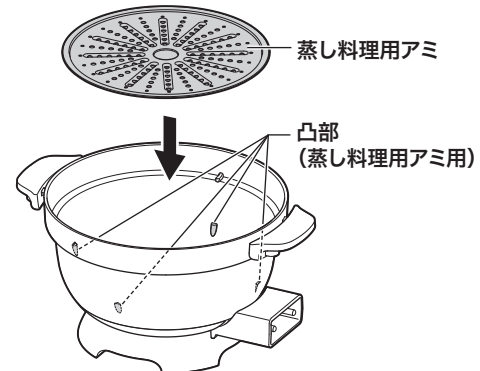


蒸し料理用アミで調理する場合

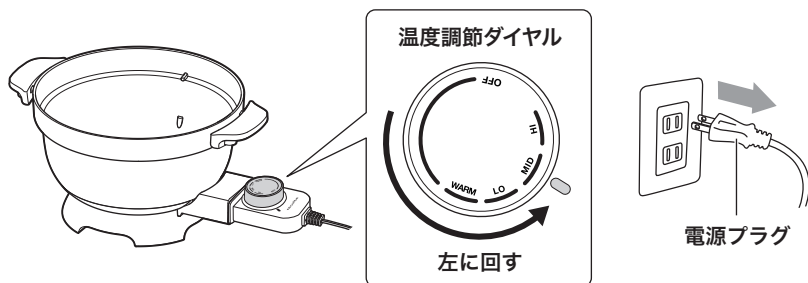
蒸し料理用アミを使うときは、なべに水を入れ、なべの内側にある凸部(蒸し料理用アミ用)に確実にのせたことを確認し、材料を蒸し料理用アミの上のせてください。

⚠ 注意

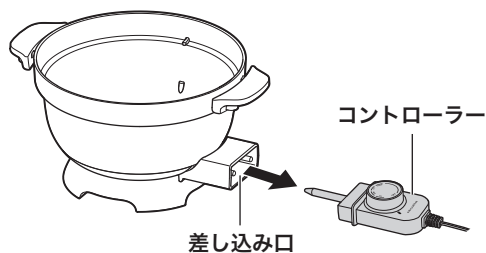
- 水が完全に蒸発しないよう、必要に応じて水を追加する。
空焚きは故障の原因。



3 使用後は温度調節ダイヤルをOFFにして調理を終了し、電源プラグをコンセントから抜く



4 本体が十分冷めたことを確認して、コントローラーを差し込み口から抜く



⚠ 注意

- コントローラーを抜くときは、差し込み口を押さえながら抜く。
- 使用直後の感熱棒は触らない。
やけどの原因。

揚げもの料理をする際のポイントと注意点

● 上手に揚げるためのポイント

- ・一度にたくさん材料を入れない。
入れる材料の目安は付属の専用レシピブックを参考にしてください。
- ・調理中に箸などでつつきすぎない。
コロッケなど、衣に穴があくと中身が流れ出ます。
- ・揚げカスはこまめに取る。
- ・揚げた調理物は、アミ付きのバットや、油切りアミに重ならないように並べ、油を切る。

● 油の飛び散りを少なくするために材料の下ごしらえをする、水気・水分をよく拭きとる

- ・イカ、エビ、ピーマン、ししとうなどは、包丁で切り込みを入れ、中にたまった水分・空気を抜く。
- ・魚介類や、洗った野菜など、水気の多いものはふきんで水気をとる。
- ・冷凍食品についた氷はしっかりと取り除く。

天ぶらの衣、ドーナツなどの生地

正常にふくらまずに、中の空気や水蒸気がふき出して、油が飛び散ることがあります。以下に注意して、生地や衣を作ってください。

- ・天ぶらの衣がかたすぎる場合は、水を増やす。
目安：衣100gに対して、水80ml以上。
- ・ドーナツなどの生地には必ずベーキングパウダーなどと砂糖を入れる。

その他の注意点

- ・本体の内側に水分、水滴がついた状態で油を入れない。
- ・水分を拭きとっていない箸や調理器具を使わない。
- ・調理中にフタをしない。
フタ裏面についた水滴が油の中に入り、やけどの原因。

お手入れのしかた

お手入れは、必ず電源プラグをコンセントから抜き、コントローラーを差し込み口から抜いて行ってください。

⚠ 注意

- 使用後すぐのお手入れはしない。
やけどの原因。
- 金属たわし、ナイロンたわしなどは使用しない。
変形、変色、表面に傷がついたり、故障の原因。
- シンナー、ベンジン、アルコール、化学洗剤などは使用しない。
変形、変色、表面に傷がついたり、故障の原因。
- 食器洗浄機や食器乾燥機、熱湯などは使用しない。
変形・変色・故障の原因。

■ 水洗いできるもの

● 本体・フタ・蒸し料理用アミ

台所用中性洗剤を含ませたスポンジなどで洗い、よくすすいだ後、乾いた布などで水気をとってください。

⚠ 注意

- 本体は十分に乾燥させる。
- 差し込み口内の金属部分に水がついたら、十分に乾燥させる。
- 差し込み口内の金属部分に水・汚れがついた状態で使わない。
感電・故障・事故の原因。

<フタの内側に白っぽい斑点模様がついたとき>

フタの内側に水蒸気が当たると、フタに白っぽい斑点模様がつくことがあります。性能や安全性に問題はありますが、次の手順で斑点模様を消すことができます。

1. コントローラーを本体の差し込み口に差し込み、フタをする。
2. 温度調節ダイヤルを「MID」の位置に調節し、約5分加熱してフタを乾燥する。

■ 水洗いできないもの

● コントローラー

やわらかい布などに水を含ませ、固くしぼってから汚れを拭きとり、乾いた布などで水気をとってください。

故障かな?と思ったら

修理の依頼をされる前に、下記内容をご確認ください。
問題が解決しない場合は、カスタマーセンターにご相談ください。

症状	主な原因	対処方法
電源が入らない	電源プラグがコンセントから抜けている	電源プラグをコンセントに差し込む (p.8)
なべの温度が上がらない	コントローラーが差し込み口から外れている 温度調節ダイヤルが「OFF」の位置にある	コントローラーを差し込み口の奥まで確実に差し込む (p.8) 温度調節ダイヤルを回し、電源を入れる (p.9)
ランプがつかない	温度調節ダイヤルが「OFF」の位置にある	温度調節ダイヤルを回し、電源を入れる (p.9)
使用中に「カチカチ」と音が発生する	ヒーターの熱膨張による音です	そのまま使用してください
ランプが消灯している	温度調節の働きにより、ついたり消えたりします	そのまま使用してください

仕様

品名	電気なべ コポット
品番	REP-1
電源	AC 100V 50/60Hz
消費電力	500W
容量	水：約1,000ml (MAXライン) 油：約450ml (MAXライン)
商品サイズ	約26.5(W)×20.5(D)×19.0(H)cm
コード長	約1.5m
重量	約1.2kg
主な材質	本体：アルミダイキャスト(フッ素樹脂コーティング) フタ：スチール、フェノール樹脂 蒸し料理用アミ：ステンレス
付属品	専用レシピブック
生産国	中国

※ 仕様、デザインは商品改良のため予告なく変更することがあります。